

67 就労移行支援（養成施設）利用者の中途解約の理由と疾患状況

総合相談支援部総合支援課 金子淑子、小田島 明、森 公士朗、川嶋陽平、
名和宏明、森田勝義、高橋美華、井坂かほり

1 はじめに

就労移行支援（養成施設）の利用者には、視覚障害の原疾患だけではなく、重複して他の疾患を抱えている利用者が多くみられる。最近、中途解約に至った利用者も重複した疾患を抱えていることが多いように感じられた。そこで、平成 20 年度から中途解約に至った利用者 30 名の疾患状況や解約理由を確認し、検証したので発表する。なお、この結果をふまえて今後の支援方法について検討していきたい。

2 本文

（1）中途解約者の状況

年度別にみると、平成 20 年度は在籍者 85 名中 7 名（8%）、21 年度は 78 名中 5 名（6%）、22 年度は 96 名中 15 名（16%）、23 年度は 90 名中 3 名（3%、10 月末現在）が中途解約をしている。このうち、新入所者の中途解約者数は、平成 20 年度は 28 名中 4 名（14%）、21 年度は 22 名中 2 名（9%）、22 年度は 40 名中 7 名（18%）、23 年度は 31 名中 3 名（10%、10 月末現在）である。

中途解約までの在籍期間をみると、1 年未満が 16 名で全体の 54%を占めている。ちなみに次に多いのは 1 年～2 年未満の 8 名で 27%であり、1 年から 2 年未満で全体の 8 割を占めている。学年でみると 1 年次で中途解約する人が多く、上級学年に従って定着しているということになる。

（2）中途解約者の疾患状況

眼疾患以外の疾患を重複している方は 30 名中 18 名（60%）である。重複した疾患状況は、うつ症状が 5 名（28%）、精神症状等が 4 名（22%）、統合失調症、てんかん、腎疾患が各 2 名（11%）である。ちなみに、全体の利用者並びに新入所者について、平成 20 年度から平成 23 年度まで約 40%の方が重複した疾患があった。

（3）中途解約の理由

中途解約の理由は、治療・体調不良が 13 名（43%）、進級基準に満たないが 6 名（20%）、自己都合が 5 名（17%）の順となっている。また、疾患を重複している 18 名のうち、治療・体調不良を理由に中途解約した方は 10 名（56%）である。そのうち 6 名が精神的に不安定な症状があった。疾患状況と解約理由を併せてみると、精神症状等を抱えている人が半数を占めている。

3 おわりに

上記の結果から、治療や体調不良が訓練への参加を困難にし、中途解約に至っている状況がみられる。また、1 年未満での中途解約者が多いこともわかった。そのため、入所前から、本人の病識や服薬管理、治療が継続的に受けられる関係病院等を確保しておく必要がある。

なお、今回は十分検証できていないが、重複した疾患のある方でも訓練を継続している方もいる。今後は、中途解約した方と、訓練を継続できた方の状況等の差異を検証し、必要な支援を検討したい。